

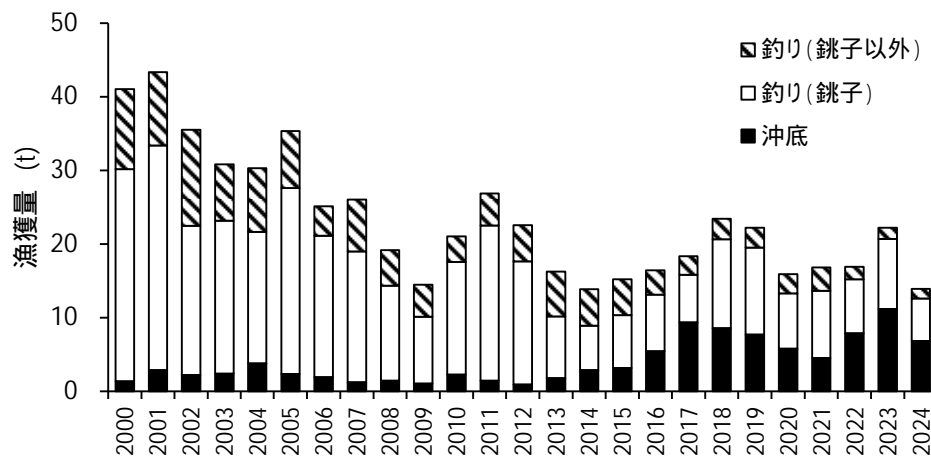
千葉県 沿岸重要水産資源 令和7年度漁獲動向

アカムツ



- ・ 漁獲のほとんどが銚子, 外房, 東京湾口における釣り漁業と銚子地区の沖合底びき網漁業によるものである。一部の地区では遊漁船でも利用されている。
- ・ 日本海側ではノドグロと呼ばれ, 高級魚として取引されている。
- ・ 太平洋側での生態的知見はほとんどない。

漁獲量



県内主要港における漁業種類別漁獲量の経年変化 (千葉県資料)

- ・ 千葉県では, 銚子地区の沖合底びき網及び釣り, 外房地区の釣り, 東京湾口における釣りによって主に漁獲されている。
- ・ 主要港における漁獲量の推移をみると, 2000 年及び 2001 年は年間 40t を超える漁獲があったが, その後は緩やかに減少し, 2009 年には 15t となった。2010 年以降は 15~30t の間で変動していたが, 2024 年は 14 トンと 2000 年以降で最も少なかった。
- ・ このうち沖合底びき網漁業での漁獲量は, 2000~2015 年には年間 5t 未満であったが, 2016 年以降は 5~10t 前後で推移している。
- ・ 2024 年の釣り漁業による漁獲量は, 銚子地区が全体の 8 割以上を占めているが, 操業隻数の参照ができないことから CPUE の算出ができない。

備考

- ・ アカムツ日本海系群 (青森県~山口県) は 2019 年から国の資源評価対象種になり, 日本海側における生態的知見が整理され, 資源の水準と動向は沖合底びき網の CPUE を用いた資源密度指数を資源量指標値として判断されている (2019 年は高位・横ばい)。